



～アクサ生命『震災後に「見直したもの」実態調査』～ 震災から3ヶ月、1万人調査から見えてきた 「見直しニッポンの処世術」

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ)は、20～50代までの生活者1万人を対象に、震災後の人生観や価値観の変化に関する『震災後に「見直したもの」実態調査』を実施し、その結果を発表しました。

調査の結果、震災後、多くの人が将来に不安を感じる一方で、自分の足元の価値を「見直す」、堅実で力強い姿が浮き彫りとなりました。調査結果の主なポイントは、次のとおりです。

自分のことは自分で守る(80.1%)、「自分頼み」の傾向へ

- 震災後、「この国の行く末に不安を感じた」(80.4%)、「自分や家族の将来について不安を感じた」(70.6%)。8割前後の生活者が将来に不安を感じているという結果に。
- そうした中、「自分のことは自分で守らなければ」という意識が増した(80.1%)など、誰かの助けを期待するのではなく、「自分は自分で守るしかない」という“自分頼み”の生き方が顕著に。

高収入なんていない?!(10.1ポイント減)、働き方を「再定義」する機会に

- 「高収入を得たい」(10.1ポイント減)／「出世したい・社内で認められたい」(5.2ポイント減)という価値感が低下する一方、「家族の近くで働きたい」(5.1ポイント増)という価値観が高まるなど、仕事観が変化。
- 高収入や出世より、身近な家族が大事。今までの働き方を「再定義」し、これまで当たり前だったものを見直す傾向に。

震災後、改めて見直される「人生観」

- 「健康であること、健康を維持することが大切だと思うようになった」(75.9%)、「生や死の意味について考えることが増えた」(67.4%)、「人とのつながりの大切さを認識するようになった」(67.4%)など、生活者の「人生観」にも見直しが見られる。

震災を機に“夫”の価値が急上昇中! 一方で離婚を考えた妻は1割(11.3%)

- 震災を機に、夫を見直した(尊敬した)妻は81.7%。夫から妻も89.5%。震災を機にお互いを再評価している夫婦が多く、居て当たり前だったパートナーを見直すきっかけに。
- 一方で、震災をきっかけに、「離婚を考えた」と答えた妻も11.3%。

男性の条件も大幅見直し。「健康」や「頼りがい」が、前年からランクアップ

- 昨年、働く独身女性に対して実施した調査では、結婚相手に求める条件としてかつての『三高』ではなく『新御三K(価値観、金銭感覚、雇用形態の頭文字)』が上位を占めた。震災後は「健康である」(昨年7位→3位)が新御三Kに食い込み、「頼りがい」(昨年6位→4位)も急浮上。
- 草食系男子ではなく、主導権をとってくれる“リード系男子”が求められる傾向に?

健康、保険、貯金。人生のリスクへの備えは自力で調達

- 人生のリスクに備える方法は、「健康的な生活を心がける」(38.5%)、「生命保険に入る」(38.0%)、「貯金を出来る限りする」(36.4%)。リスクへの備えを自力で調達している傾向が鮮明に。

この国を任せたい人、1位は北野武さん

- 2位は「小泉純一郎」さん、3位は「石原慎太郎」さん。そして17位には「自分」がランクイン。

＜アクサ生命 『震災後に「見直したもの」実態調査』実施概要＞

調査時期： 2011年6月10日～13日
調査方法： インターネット調査
調査対象： 20歳～59歳の男女 10000名（男性：5000名、女性：5000名）
調査対象エリア： 一都三県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
調査会社： 株式会社ドウ・ハウス

アクサ生命について

アクサ生命はAXAのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かし、多様なお客さまのニーズにお応えするため、死亡保障や医療・ガン保障、年金、資産形成など、幅広い商品を多様な販売チャネルを通じてお届けしています。

AXAグループについて

AXAグループはフィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXAはパリ証券取引所に株式を上場しています。詳細はwww.axa.co.jp/lifeをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部
電話：03-6737-7140 FAX：03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp/life>

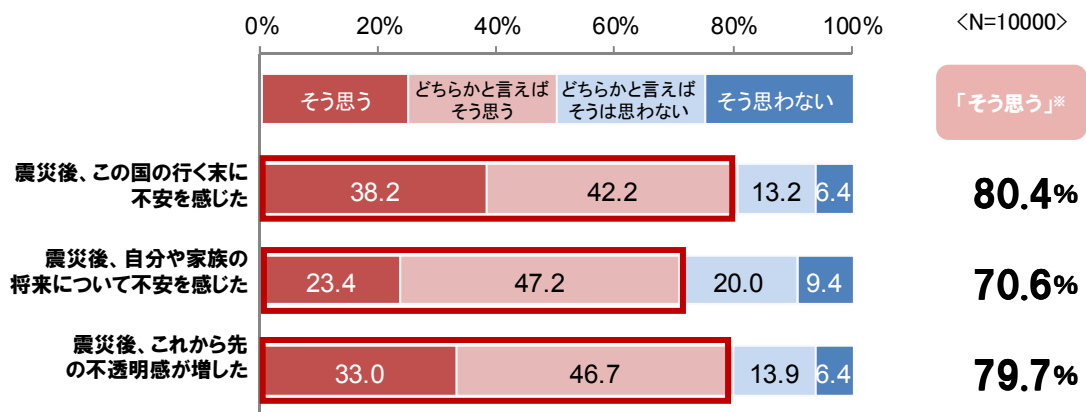
震災後、未来への不透明感が増す中、“自分頼み”の傾向へ

震災によって、一般生活者の意識はどのように変わったのでしょうか。

まず、震災後の将来への意識を聞いてみると、震災後、「この国の行く末に不安を感じた」（そう思う：80.4%）、「自分や家族の将来について不安を感じた」（そう思う：70.6%）、「これから先の不透明感が増した」（そう思う：79.7%）と、自分や家族、国の将来に対し、不安感・不透明感が増しているようです。[グラフ1]

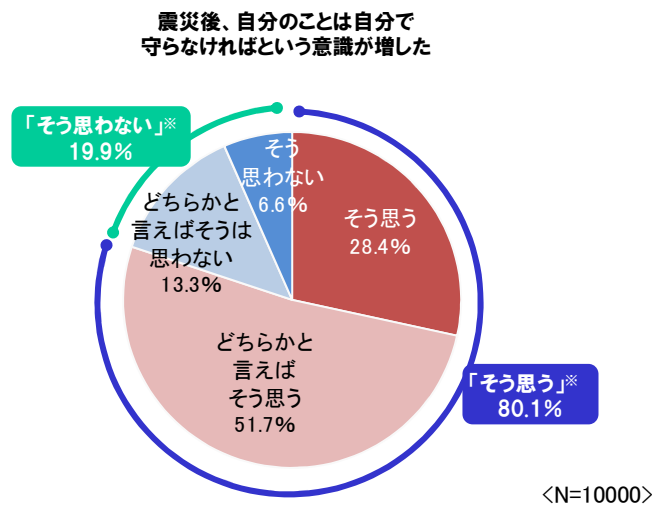
このように将来への不安感・不透明感が高まる中、「自分のことは自分で守らなければという意識が増した」という人が80.1%と、自己防衛意識が強まっています。[グラフ2] 言わば、ひと頼みではなく、“自分頼み”の傾向が表れていると言えます。

グラフ1)震災後の意識の変化



※「そう思う」=「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」

グラフ2)震災後の意識の変化



※「そう思う」=「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」
 「そう思わない」=「そう思わない」+「どちらかと言えばそう思わない」

働き方を「再定義」。高収入や出世より、家族という当たり前の存在を重視。

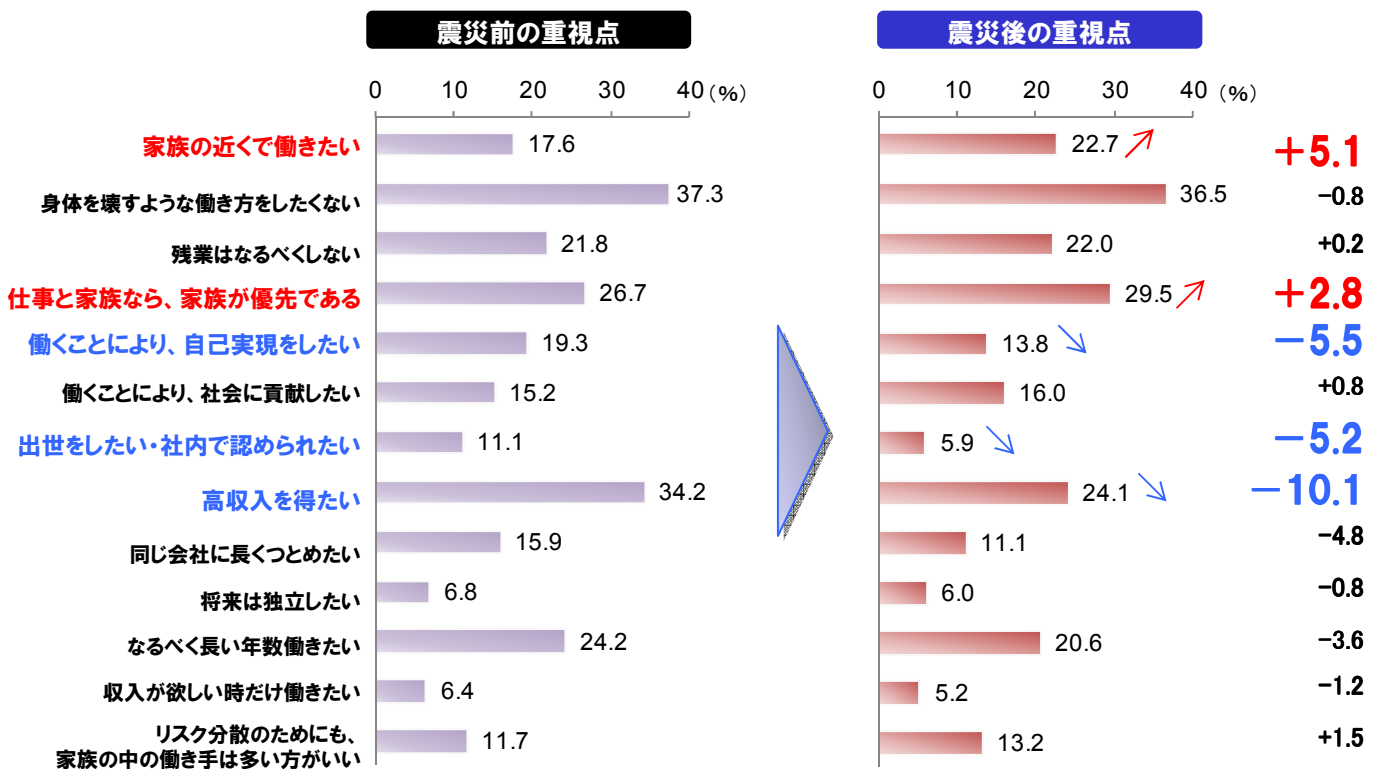
震災後の意識の変化は、働き方にも波及しているようです。

働いている人に、働き方について震災前に重視していた点、震災後の今重視している点をそれぞれ聞いたところ、今、重視している点として「家族の近くで働きたい」(5.1ポイント増)や、「仕事と家族なら、家族が優先である」(2.8ポイント増)が上昇。一方で「高収入を得たい」(10.1ポイント減)、「働くことにより、自己実現をしたい」(5.5ポイント減)、「出世をしたい・社内で認められたい」(5.2ポイント減)などは減少しています。[グラフ3]

高収入や自己実現、他の人からの評価より、家族と一緒にいることが大事。自分にとって当たり前であった家族との時間を重視する、という意識の変化が見られます。

グラフ3)働き方についての重視点(複数回答)

<有職者N=5863>



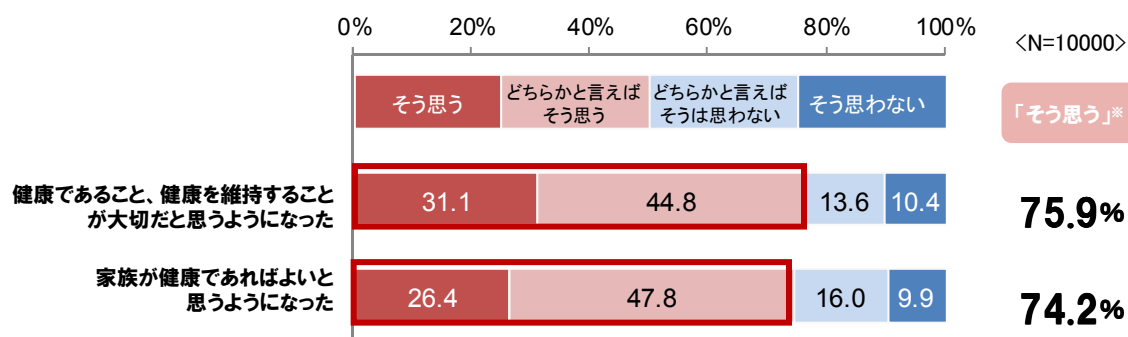
人生観も変化。健康など、当たり前のことの大切さを改めて実感。

将来への意識や働き方に変化が見られたように、震災は、生活者の価値観そのものにも大きな変化をもたらしています。

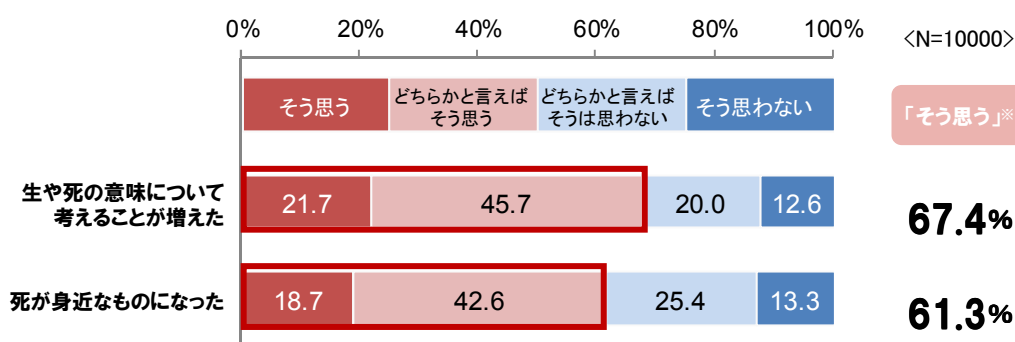
震災によって考え方や価値観にどのような変化があったかと聞いたところ、「健康であること、健康を維持することが大切だと思うようになった」(そう思う: 75.9%)、「家族が健康であればよいと思うようになった」(そう思う: 74.2%)と、今までは おそらく当然のことであったであろう、自分や家族の健康の大切さを改めて認識しています。[グラフ4]

また、「生や死の意味について考えることが増えた」(そう思う: 67.4%)、「死が身近なものになった」(そう思う: 61.3%)と いう人も多く[グラフ5]、自身の死生観を見直すとともに、「人とのつながりの大切さを認識するようになった」(そう思う: 67.4%)と、人とのつながりの大切さを改めて実感している様子もうかがえます。[グラフ6]

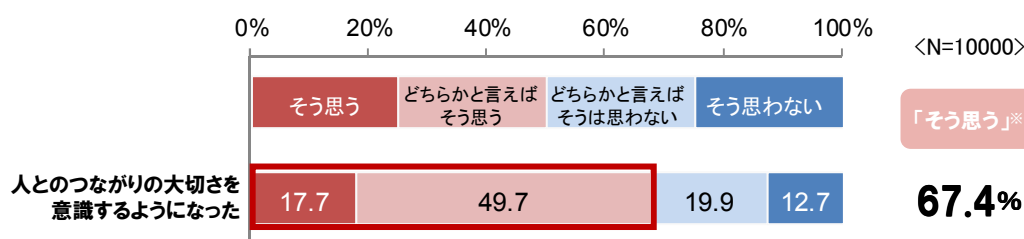
グラフ4)震災による考え方・価値観の変化:健康へのありがたみ



グラフ5)震災による考え方・価値観の変化:死生観



グラフ6)震災による考え方・価値観の変化



※「そう思う」=「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」

震災で夫を見直した妻が8割(81.7%)！一方で、離婚を考えた妻は1割(11.3%)。

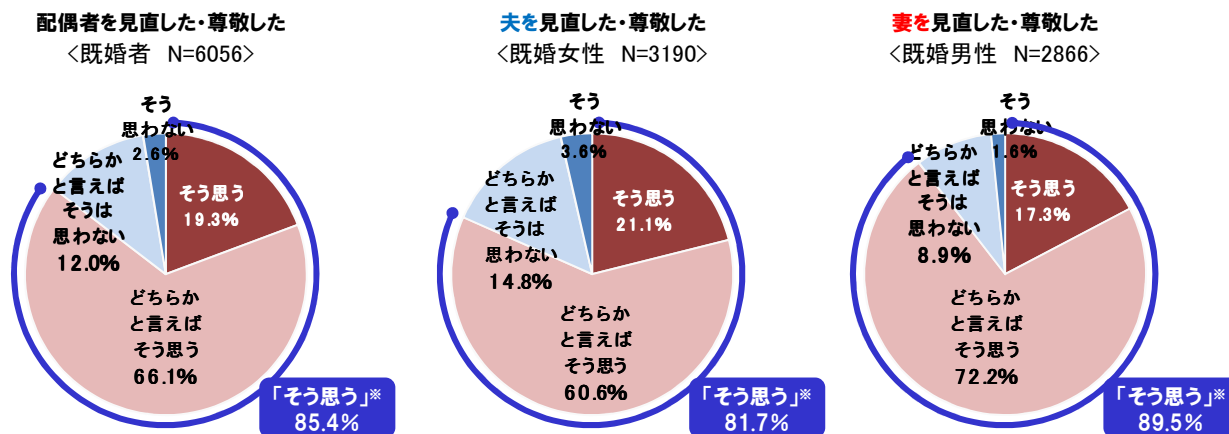
震災は人との関係にも変化をもたらしました。

震災時の夫もしくは妻の対応を見て、「見直した・尊敬した」と答える人が85.4%と、8割以上の夫婦がお互いの価値を再認識しています。夫婦別で見ても、「夫を見直した」(81.7%)、「妻を見直した」(89.5%)と、どちらも高い割合となっています。[グラフ7]

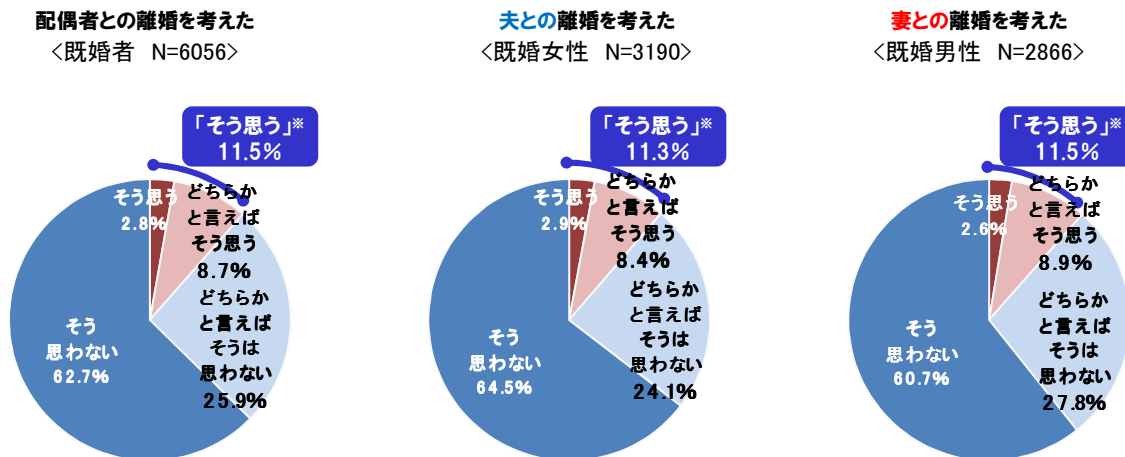
一方、震災によって「配偶者との離婚を考えた」という人は11.5%。夫との離婚を考えた妻は11.3%、妻との離婚を考えた夫は11.5%となっており、ポジティブに見直した人ばかりでもないようです。[グラフ8]

あって当たり前だったものを改めて「見直す」傾向がこの結果からも読み取れます。

グラフ7)震災後の配偶者に対する評価



グラフ8)震災後、離婚を意識したか



※「そう思う」=「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」

震災後、結婚の条件『新御三K』の一角は、「雇用形態の“K”」から、「健康の“K”」に！

独身者の結婚観にも変化が見られます。震災前後の結婚観を比較して見ると、「理想の人が現れるまで、結婚しない」が減少し（震災前：46.4%→震災後：40.8%）、「理想の人でなくても妥協して結婚する」（震災前：7.5%→震災後：12.1%）が増加。結婚の条件は緩和されています。[グラフ9]

そのためか、独身女性の結婚の条件にも変化が見られました。昨年アクサ生命が実施した働く独身女性を対象にした調査では、かつての『三高（高収入、高学歴、高身長）』が影をひそめ「価値観が合う」、「金銭感覚が一致している」、「雇用形態が安定している」がトップ3にランクイン。その頭文字から結婚の『新御三K（価値観、金銭感覚、雇用形態の頭文字）』を提唱しました。しかし、今回の調査では3位に「健康である」（58.7%）、4位に「頼りがいがある」（57.8%）が急浮上。震災後、『新御三K』の一角は、「雇用形態の“K”」から、「健康の“K”」に取って代わっています。

震災前は女性の意見を尊重し、受身でいる草食系男子がもてはやされましたが、震災を機に身体が丈夫で頼りがいのある、“リード系男子”が求められているのかもしれません。[表1]

グラフ9)独身者の結婚観

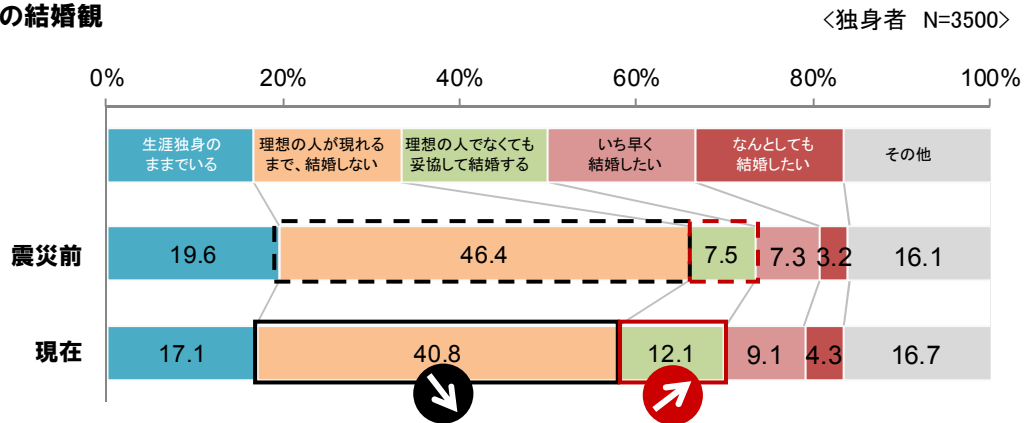


表1)独身女性が結婚相手に求める条件（2010年:3つまで回答/2011年:複数回答）

| 2010年 | | |
|-------|----------------|------|
| 第1位 | 価(K)値観が合う | 61.8 |
| 第2位 | 金(K)銭感覚が一致している | 27.0 |
| 第3位 | 雇(K)用形態が安定している | 26.3 |
| 第4位 | 安定した職業についている | 24.2 |
| 第5位 | 誠実・浮気をしなさそう | 23.7 |
| 第6位 | 頼りがいがある | 23.2 |
| 第7位 | 健康である | 20.8 |
| 第8位 | 趣味が合う | 12.5 |
| 第9位 | 収入がいい | 12.3 |
| 第10位 | 自分の意見を尊重してくれる | 10.7 |
| ... | | |
| 第19位 | 身長が高い | 1.7 |
| 第20位 | 学歴が高い | 1.5 |

| 2011年 | | |
|-------|----------------|------|
| 第1位 | 価(K)値観が合う | 74.6 |
| 第2位 | 金(K)銭感覚が一致している | 61.8 |
| 第3位 | 健(K)康である | 58.7 |
| 第4位 | 頼りがいがある | 57.8 |
| 第5位 | 誠実・浮気をしなさそう | 52.3 |
| 第6位 | 雇用形態が安定している | 50.9 |
| 第7位 | 安定した職業についている | 50.1 |
| 第8位 | 家事に協力的 | 47.5 |
| 第9位 | 自分の意見を尊重してくれる | 44.9 |
| 第10位 | 趣味が合う | 42.9 |
| ... | | |
| 第12位 | 収入がいい | 36.2 |
| 第18位 | 身長が高い | 14.8 |
| 第20位 | 学歴が高い | 8.8 |

〈独身有職女性 N=600〉

〈独身女性 N=1556〉

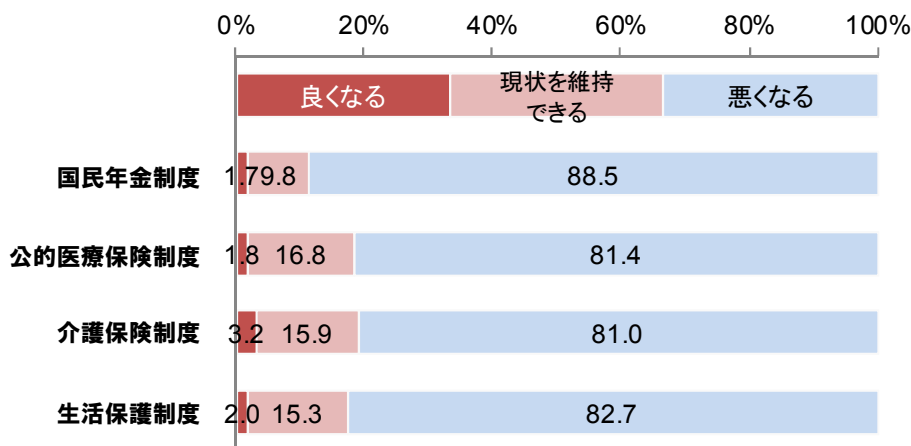
健康、保険、貯金。人生のリスクへの備えは自力調達。

震災後の生活者に“自分頼み”の傾向が強いことが明らかになりましたが、彼らに、国民年金制度、公的医療保険制度など国の制度が将来どうなると思うか予測を聞いたところ、「現状より悪くなると思う」（国民年金制度：88.5%、医療保険制度：81.4%）という意見が圧倒的多数を占めています。[グラフ10]

それを反映してか、人生のリスクに対して、「生活習慣に気をつける・健康的な生活を心がける」（38.5%）、「生命保険に入る」（38.0%）、「貯金を出来る限りする」（36.4%）など自力でリスクへの備えを行う人が多くなっています。[グラフ11]
人生のリスクに対し、生活習慣や保険、貯金で備えるという生活者の実態が浮かび上がります。

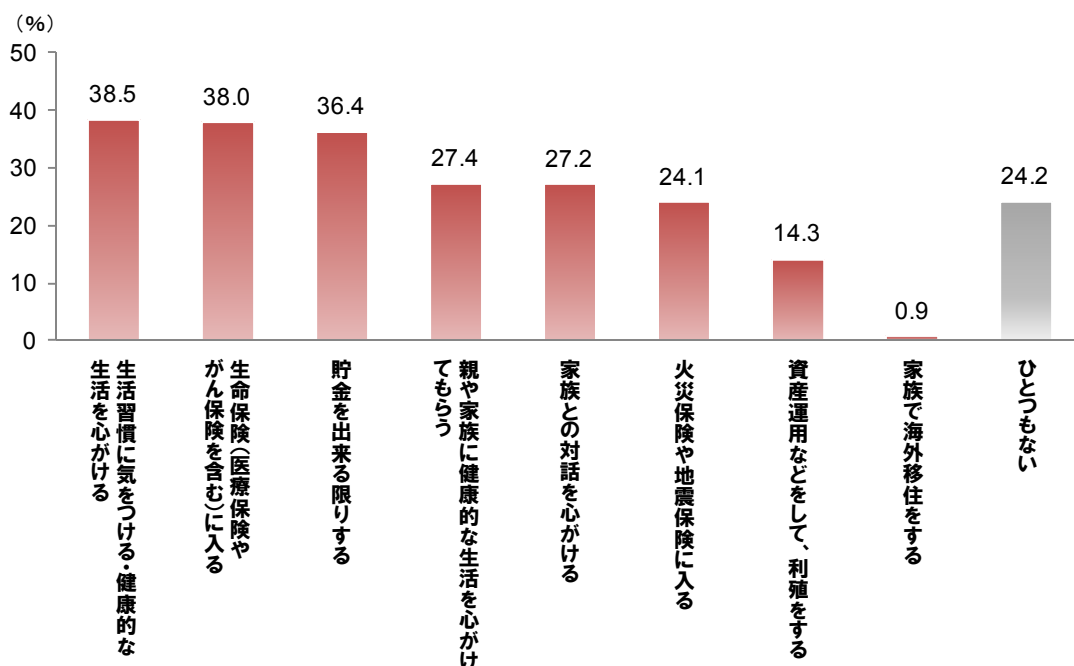
グラフ10)国の保障制度への見方

<N=10000>



グラフ11)人生のリスク対策として、今やっていること(複数回答)

<N=10000>



この国を任せたい有名人、1位は「北野武」さん。17位に「自分」も登場。

最後に、震災後の日本を任せたい有名人を、国籍を問わず自由回答で答えてもらいました。

1位にあげられたのは、「北野武」さん。そして2位は「小泉純一郎」さん、3位は「石原慎太郎」さん、4位は「孫正義」さんとなり、文化人から実業家、政治家まで、幅広い分野の有名人があげられています。外国人では、7位に「カルロス・ゴーン」さんが登場。9位にも「バラク・オバマ」アメリカ大統領が登場し、日本を任せたい人は、日本人に限らないようです。また、17位には「自分」という回答がランクインしました。[表2]

表2)この国を任せたい有名人(自由回答)

<N=10000>

| 順位 | この国を任せたい有名人 | 件数 |
|------|-------------|-----|
| 第1位 | 北野武 | 480 |
| 第2位 | 小泉純一郎 | 440 |
| 第3位 | 石原慎太郎 | 409 |
| 第4位 | 孫正義 | 404 |
| 第5位 | 橋下徹 | 227 |
| 第6位 | 東国原英夫 | 199 |
| 第7位 | カルロス・ゴーン | 157 |
| 第8位 | 小沢一郎 | 156 |
| 第9位 | バラク・オバマ | 131 |
| 第10位 | 池上彰 | 108 |
| | ⋮ | |
| 第17位 | 自分 | 50 |

第二回調査告知

今回の調査結果で、自分の人生のリスクに備えるため「生命保険に入る」という回答が上位にランクインしていたことから、アクサ生命では本調査に引き続き、「保険のギャップに関する認識調査」を実施します。

現在自分が加入している医療保険の保障内容と、認識している保障内容のギャップについて、改めて「見直し」する調査となります。結果は7月19日リリース予定です。

■ 調査概要(予定)

- ・実施時期 2011年6月25日(土)～26日(日)
- ・調査手法 集合調査
- ・調査対象 30歳～59歳の男女 50名